

EPUB 3 時代における電子出版の現状と個人出版の可能性

中田平 *1

Email: nakata@kinjo-u.ac.jp (nakata@digitalestate.biz)

*1: 金城学院大学国際情報学部国際情報学科 (デジタルエステイト株式会社)

◎Key Words: EPUB 3, KDP, iBooks, Kobo, 青空文庫, ドットブック, 緊デジ, 共同幻想論

1. はじめに

Kindle Direct Publishing や Apple の iBooks や Kobo の登場で電子出版が本格的な時代を迎えることになった。時代に呼応して、EPUB 3 の規格では日本語の縦書やルビなど、アルファベット以外の言語にも対応することになった。この発表では、これまでの電子出版の歴史を振り返りながら、既存の出版社や編集者とは独立に個人で出版をする可能性とその方法について論じる。

2. EPUB 3 とは

2.1 EPUB 3

EPUB (Electronic Publication) とは国際電子出版フォーラム(International Digital Publishing Forum, IDPF) が推奨している電子書籍用 XHTML のサブセット的なファイル・フォーマットである。EPUB が重要なのは、電子書籍用ファイル・フォーマットとして公開された共通規格によるオープンな世界標準の規格化を進めていることであり、誰でも電子書籍を作ることができることである。

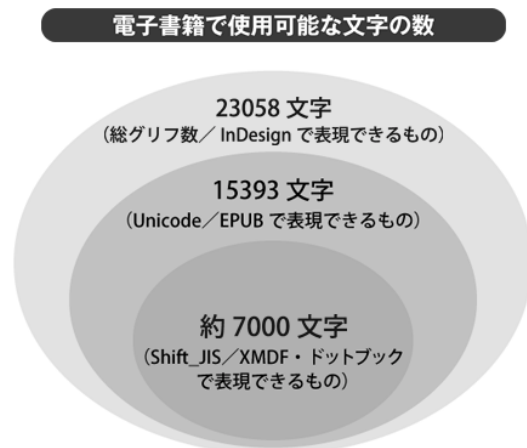
2.2 縦書き仕様の実装

日本語電子書籍にとっての朗報は、日本電子出版協会²の村田真が日本語を国際標準フォーマットの進行の中で孤立させないために、台湾や香港の縦書きやアラビア語とヘブライ語にも対応させる戦略を立てて、EPUB 3.0 の国際化を完成させたことであろう。2011 年 10 月 10 日に IDPF が "EPUB 3.0 Final Specification" を公開した。³村上によれば、EPUB 3 で縦書き導入が可能になった背景には、2009 年 6 月「日本語組版処理の要件」(W3C)があったこと、彼が EPUB WG の中の Enhanced Global Language Support Sub-group のコーディネータの地位を取れたこと、W3C CSS WG で EPUB 縦書き対応を主体的にやる人たちを確保できたこと、Apple が webkit での実装を進めたことを挙げている。⁴

ところで、EPUB は村田が主導している RELAX NG という XML と CSS と HTML5 (W3C) で構造化され、文字は Unicode で実現するものである。電子書籍で使用可能な文字の数は Unicode では 15393 文字で、Shift_JIS の約 7000 字の倍以上である。それでも紙の書籍で表現できる文字数と比べるとはるかに少ない。それが電子書籍の問題点となっている。

EPUB 3 が主流になるということは、それまで Shift_JIS で実装してきた日本の電子書籍を新しい規格に適合させるという問題を生じさせた。良いことば

かりではないのが電子書籍の世界である。



※小塚 Pr6N (Adobe Japan 1-6) の場合

図1 処理文字数の違い⁵

3. 日本における電子出版の規格について

3.1 青空文庫

「青空文庫は、利用に対価を求めない、インターネット電子図書館です。著作権の消滅した作品と、『自由に読んでもらってかまわない』とされたものを、テキストと XHTML (一部は HTML) 形式でそろえています。」⁶

著作権切れになった本は無料で読めるようにすべきだという青空文庫の富田倫生の活動とポリシーは共感を呼ぶ。入力も校正もボランティア、その脈々たる活動が今日の日本の良心的な電子書籍コンテンツの源泉になっている。⁷

3.2 青空文庫の記法

ボランティア組織とはいえ、青空文庫は厳密な日本語縦書き組版の標準記法を作り上げている。青空文庫は標準記法⁸に従ったテキスト版を作った後、プログラムでこれを XHTML に変換して端末で読む形式にする方法を取っている。文字は JIS X 0208 で Shift_JIS、改行コードは CR+LF を指定しているが、青空文庫はその組版のタグを公開しているため、だれでもこの記法に従えば縦組の電子書籍を作ることができる。⁹

青空文庫の記法は日本語の組版として EPUB 3 でも有効であり、青空文庫の注記入りテキストファイルを aozoraEpub3¹ というプログラムを使って ePub3 ファイ

¹ <http://www18.atwiki.jp/hmdev/pages/21.html>

ル(zip圧縮)に変換することができる。Windowsなら秀丸エディタ、MacならJeditなどを使って作った青空文庫txtのテキスト+画像ファイル(またはzip)のePub3変換をすることでEPUB3フォーマットのファイルができあがる。¹⁰

3.3 電子書籍のフォーマット

いわばオープンソースである青空文庫の記法以外の電子書籍のフォーマットとしては、シャープのXPDF(ever-eXtending Mobile Document Format)とボイジャーのドットブック(.book)が業界標準であった。XPDFはGARAPAGOSを始め、ソニー・KDDI・朝日新聞が出資したブックリスタやNTTドコモも採用して業界標準になりつつあるが、ドットブックもBookLive!やBooksVなどで採用され、電子書籍書店では2つのフォーマットが並立している状況である。こうした乱立状態ではEPUB3を掲げた「黒船」を迎え撃つことはできないと考えた総務省を始め文科省・経産省は、「電子書籍交換フォーマット標準化プロジェクト」という委託事業を行ったほどである。2011年3月23日付の報告書が出されている。

4. コンテンツ緊急電子化事業

経済産業省は2012年度予算としてコンテンツ緊急電子化事業(緊デジ)を行なった。予算規模が補助金額(上限)約10億円、事業総額が約20億円、電子化書籍のアイテム数が約6万タイトルで、2013年3月31日に終了し、図2のように99.7%の達成率であると称している。「電子書籍市場の拡大及びそれに伴う被災地域の知へのアクセスの向上に向けて、書籍の電子化作業に要する製作費用を国が補助します。」という謳い文句の後半部分は付け足しで、交換フォーマット標準化プロジェクトと同じように、これもKindleやiBooksといった黒船対策と言っていいだろう。緊デジ制作タイトル一覧¹¹を見ると、コンテンツは玉石混交と言わざるを得ない。

| 申請済タイトル数(フォーマット別) | | | 電子書籍制作ファイル数 | | | 補助金達成率 |
|-------------------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|
| fix | reflow | 合計 | fix | reflow | 合計 | |
| 48,459 | 16,374 | 64,833 | 59,541 | 21,352 | 80,893 | 99.7% |

図2 最終確定したタイトル申請数と達成状況¹²

5. 個人出版

緊デジの補助対象は出版社、印刷会社、電子書籍制作会社であり、電子出版を目指す個人ではない。個人で出版を目指す場合、一番手取り早いのはAmazonのKindleで読むためのKindle Direct Publishing(KDP)である。KDPは著者・出版社・印刷会社・取次・書店・消費者という流れを、著者・Amazon・消費者という最短距離に変える。私たちはこれまでの商習慣を無視して著者になることができる。Kindleが黒船であるのは、印刷から電子出版というメディアの転換だけの問題でなく、日本の出版界の商習慣を完全に覆すからである。

5.1 Kindle Direct Publishing

KDPの仕組みは、個人がKindleフォーマットで電子書籍を作れば、AmazonのKindleプラットフォームで世界中の消費者に販売し、販売価格の最大70%(実際は35%)が出版者に支払われるというものである。¹³この仕組みは実に簡潔なもので、難しい手続きは全くない。電子出版の場合、ISDN番号も付ける必要がないのだ。残るのは電子書籍をどうやって制作するか、の技術的な問題である。紙の出版を電子化する既存の出版社の場合は、従来の力関係を使って印刷会社が持っている紙媒体のためのInDesignの書き出しプラグインを使えば比較的簡単に電子出版にたどり着くだろう。個人で出版者が紙の本のための装丁をInDesignでわざわざ作ってから電子化するというのはいかにも無駄な手間だろう。

5.2 フランス語の本を電子書籍で出版する場合

さて、今回の私の本は1984年から開始した吉本隆明『共同幻想論』のフランス語訳である。かつて1997年にVoyagerのエクスパンドブックとしてCD-ROMで出版されたものだが、すでに絶版になって時間が立っている上に、今回、強い要望に請われてKindleとiBooksで出版することにした。2012年8月出版社として「追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」を出版した筆者は、現在、フランス語の電子書籍を世界に向けて出版すべく、どのソフトを使ってepubにするか、校正はどうするか、KindleのガイドラインとiBooksのガイドラインへの対応などに日々取り組んでいる。PCカンファレンスでの発表時には著者の出版物がすでに発売されていることを期待している。

註

¹ <http://idpf.org/>

² <http://www.jepa.or.jp>

³ EPUB3仕様書・関連文書

<http://imagedrive.github.io/spec/index.xhtml>

⁴ <http://www.asahi-net.or.jp/~eb2m-mrt/epub/EPUBDigitalDocument201111.pptf>

⁵ 「電書魂」より転載。 <http://densyodamasii.com/?m=201206>

⁶ <http://www.aozora.gr.jp/guide/nyuumon.html>

⁷ 楽天がKoboを子会社化して2012年7月に日本語書籍の発売開始したとき、青空文庫を自社開発の書籍の点数に数えて響響を買ったことも記憶に新しい。

⁸ <http://kumihan.aozora.gr.jp/slabid-19.htm>

⁹ <http://kumihan.aozora.gr.jp/>

¹⁰ ただし、EPUB3がUnicodeを文字コードにしているのに対して、青空文庫の表記法はShift-JSであるため、文字や記法の中には変換することはできないものもある。それについてはプリントアウトした上で手入力変更するほかない。

¹¹ <http://www.kindigi.jp/dlfiles/jpo20130603/kindigititlelist.pdf>

¹² コンテンツ緊急電子化事業特設サイトより転載。 <http://www.kindigi.jp/>

¹³ <https://kdp.amazon.co.jp/self-publishing/signin>